

石段奉納

この度、神社本殿廻り摂社・末社をお参りするための入り口にある階段を、神奈川県秦野市の大津昇様のご奉納により整備され、平成二十六年十月二十日、午前十時より石段竣工式を執行いたしました。

平成九年から始めた境内石段整備ですが、崇敬者様の篤い御信心と、御寄進をいただきまして、お陰様であと僅かで終了するところとなりました。

皆様のご厚情に感謝申し上げます。現在二年後の酉年式年大祭にむけて漆・彩色塗り替え事業の御協賛を賜っているところでございます。今後とも格段のご協力ご支援をお願い申し上げます。



日の出祭

山伏の入峰儀式が発祥とされる日の出祭。当社で最も格式の高い祭典で一年の無病息災・家内安全をお守りいたします。

このお祭りでは、お供として行列に参加される供奉者、神輿を警護する鎧武者、健やかな成長を祈念する稚児を募集しております。大勢の方のお申込をお待ちしております。

五月七日 宵宮 午後八時
八日 本祭・行列出発 午前十時

供奉料 三千円・五千円・一万円以上

鎧武者・稚児 供奉無料 鎧持参加可能

※詳しくはお問い合わせ下さい。



修行体験講座

毎年多くの方々にご参加いただいております修行体験も今年で十五年を迎えました。

高潔なる山の懐に抱かれる深山から湧き出でる清き水にて、日々の罪穢れを洗い清め、新たな自分と向き合えるでしょう。「げがれ」とは「氣枯・希枯・食涸」を表し、生きるために必要な意思や思い、食への力などが弱まっている状態を指します。御嶽大神のご神徳を頂き、明日への第一歩を強く踏み出しましょう。

今年より一泊二日の講座を一回とし、山駆けと滝行を一日で行う講座が出来ました。是非ご参加下さい。

一日修行体験講座

日 時 六月二十日(土)

開催人員 三十名まで

費用 一万円(申込金・五千円)

滝行体験講座

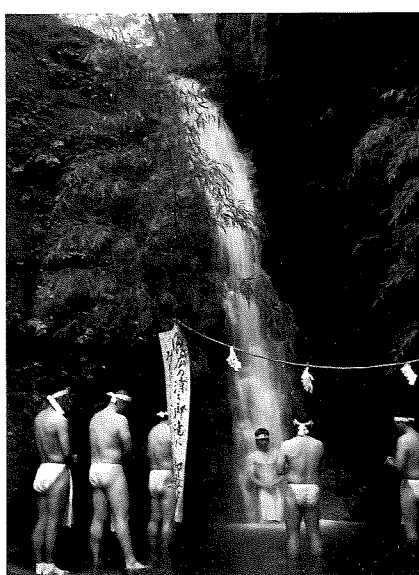
日 時 七月二十日(月)

費用 五千円(申込時全額振込)

修行体験講座

日 時 九月二十六日(土)・二十七日(日)

費用 一万五千五百円(申込金・五千五百円)



第四十二回 武蔵御嶽神社奉納俳句入選作品

応募総数 六百七十句

選者 金子千侍

奉納俳句選評

特選一席

春運ぶ巫女の白足袋赤鼻緒 長谷川 栄

清楚、初初しい、白衣袋の巫女。楚々と社殿へ向かって行く。白足袋の真紅の鼻緒が、暖かい春を運んで来たようだ、作者の詩心はしっかりと捉え、美しい巫女の姿を、春を連れて来る女神、佐保姫と重ね合わせたのでした。

特選四席

土壁に暖簾の様な吊し柿 原島 康典

皮を剥いた柿。十個位を一本の縄に縛り付け、これを軒先に吊した横棒に引つ掛け吊します。これを何本も吊しますと、柿暖簾のようになります。例へば、横棒を何本も渡して柿吊し縄を引つ掛けると柿襖などともいいます。本句の趣は、吊し柿の背景土壁。なんとも云えない情景です。

特選五席

講中の碑は黒御影百合写す 古谷 彰宏

町の人々や、商賈仲間、色々の「講」を作って御嶽神社へのお参りをします。終了には、そのお参りの「証」となる碑を建てるものです。沢山の碑のある中で、作者の目に止まって生まれたのが、この作品です。黒御影石に刻まれた講中の碑。その傍で山百合が美しい花を咲かせていたのです。黒御影が鏡のように、百合が、どんなもんだと、一人じめに映っているのです。

佳作

山腹に花野抱ける神の山 青梅市 青山 奈重
夏空に白木の鳥居風匂ふ 羽村市 小澤 弘子
新緑やリュックつぎぎ御嶽山 多摩市 立川 明朗
硝子戸を揺する太鼓や寒祝詞 多摩市 萩生田 芳孝
神宿る御師の山なり星月夜 八王子市 岡 光 子
西御岳東に筑波初詣 あきる野市 田野倉 訓郎
幽谷の黒き深まり冬来る 調布市 水野 進子
奥多摩の溪谷に食ふ冷奴 千葉市 本多 悠夫
御師の里こそりて太き軒氷柱 青梅市 津布久 信雄
寒雀ころがるごとく山の道 川口市 加田 日登美

特選三席

鶯の輪の真下こたつの御師の宿 渡邊 敏雄

空に鶯の輪。その下に御岳山。その下に御師のお宿。その下に更に御師が炬燵に蹲っている。閑かな、平和な、冬の御岳山。天から地に向って貫く立体像。一幅の絵の様であります。

第四十三回 奉納俳句募集要項

一、作品は未発表に限る
一、受付は指定用紙にて投句箱へとする
(郵送等直接の受付は致しません)
一、締切り 平成二十八年一月十五日
一、発表 平成二十八年三月中旬
四季を通じ「御岳山を題材」とした俳句を募集しております。
大勢の方の投句をお待ちしております。

選者吟 満開の桜道行く浮力生れ